

学 習 日 誌

8月18日（金）	講 師	東海大学 助川幸逸郎教授（文化社会学部）
出席者数	77名	記 録 者 8年 7班 飯岡瀬一
講 座 名	文学講座1 「源氏物語 1 どこから始める？『源氏物語』登山」	
プログラム担当者	文学講座グループ（リーダー大西恵子）	
時 間・場 所	13:30 ~15:30、第1集会室にて	

【学習内容】

～もっともすぐれた『源氏物語』入門法は？～

- 『源氏物語』への最初の入口として、作者・物語の成り立ち・物語の概要について解説。
作者が判明している物語は、当時としては極めて稀なことだった。
ストーリーは、史実をもとにした徹底したリアリズムで書かれている。
女性だけでなく男性貴族たちも「源氏」を読んだ。
- アプローチ その1「入門書を読む」～はじめて読む『源氏物語』—助川おすすめの入門書
清水好子「源氏の女君」 俵万智「愛する源氏物語」 高木和子「源氏物語を読む」
山本淳子『平安人の心で「源氏物語」を読む』 助川幸逸郎「光源氏になってはいけない」
- アプローチ その2「漫画で全体のストーリーを味わう」
大和和紀「あさきゆめみし」 江川達也「源氏物語」 森猫まりり「源氏物語～愛と罪と～」
- アプローチ その3「映像で作品世界に親しむ」
長谷川一夫 市川雷蔵 沢田研二 天海祐希主演の作品についてエピソードの紹介があった。
- アプローチ その4「一部でもいいから原文に触れる」
岩波文庫版＝現代語訳がついていないので初心者には厳しい
角川文庫版＝ダイジェストとしてはよくできているが、もう少し解説が欲しい
吉海直人「源氏物語入門」＝原文＋解説の本で、「平安時代の人はこう読んでいた」とうところをわからせてくれる。⇒ 解説がヤバイ！
- 結局のところ「助川先生が推す入門書は？」
清水好子「源氏の女君」と高木和子「源氏物語を読む」を読んだ後に、吉海直人「源氏物語入門」を読む。



【感想】

「源氏物語」は誰もが知っている作品だが、原文をすべて読んだ人はあまり多くはないだろう。

手始めにどこから手を付けるか、思案している人にとって（そうではない人にとっても）とてもわかりやすく、楽しい講座だった。

コロナ禍で古い映画をたくさん観たが、その中に長谷川一夫の「忠臣蔵」や市川雷蔵の「眠狂四郎シリーズ」があったことを思い出した。

次回の講座「源氏物語 2 翻訳篇」が楽しみだ。

